

武州長瀬駅附近航空写真

現在の風景

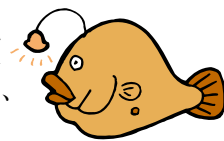


武州長瀬駅周辺の航空写真  
(昭和52年8月ごろ) (阿部哲三さん提供)

武州長瀬駅周辺の航空写真です。昭和52年ごろは、養蚕なども行われていて、桑畑などの緑地が多く残されていました。現在は、武州長瀬駅南口の区画整理が終了し、様々な建物が建設されています。

## 徒然歳時記

あんこう



「肴は何ができる?」「えー、できますものは、けんちん、おしたし、鱈昆布、あんこうのようなもの、ぶりにお芋に蛸酢でございます、へーい」「じゃあ、のようなものってのを一人前」「できませんよそんなもの」……

これは、古典落語の「居酒屋」という演目の一節で、居酒屋で働く小僧を酔っ払いがクダを巻いて、からかうというものです。古典落語にも登場するほど、あんこうは昔から人びとに親しまれてきました。

あんこうは、深海魚で頭部が著しく大きく、幅広な魚です。泳ぎが下手なため、海底の砂に潜り、頭にある2本のアンテナ状の突起を揺らして、近づいてきた魚を丸呑みにするという珍しい捕食行動をとります。

見た目は、グロテスクで恐ろしい顔をしたあんこうですが、西のフグ、東のあんこうと称されるほど、日本人にとっては、代表的な冬の食材として親しまれています。吊るし切りと呼ばれる独特の方法で捌かれるあんこうは、身肉、皮、胃、肝臓、卵巣、えら、ヒレの七つ道具と呼ばれる部位に分けられます。七つ道具と野菜、味噌や醤油で調理されるあんこう鍋。海のフォアグラと呼ばれるあんこうの肝臓をポン酢ともみじおろしで食べるアンキモなどがよく知られています。

まだまだ寒いこの季節、みなさんもコラーゲンやビタミンが豊富なあんこうを食べて、寒さを乗り切ってください。

● 昨年、8月20日発行の広報もろやまで、「食の未来を守る」という特集記事を掲載しましたが、この特集号が埼玉県広報コンクール町村の部で、2年連続の特選を受賞しました。これも特集記事作成にご協力いただいたみなさんのおかげです。この場をお借りして、お礼申し上げます。(Y)

## わがやのアイドル



井上 柊くん  
(3歳)

いつも 元気一杯!!  
最近は「お腹すいたー」と起きてきて、ご飯をモリモリ食べます。

タオルを持てば「羞恥心」を踊っていたり、お姉ちゃんと一緒にピアノを弾いたり、大忙しの毎日です。



斎藤 若菜ちゃん  
(2歳9か月)

歌うことが大好きな若菜! 「やぎさんゆうびん・ゲゲゲの鬼太郎など……」調子が良い時は、振り付きでノリノリで歌っています♪ 保育園にも元気に通っています!

■ 秘書広報課では「わがやのアイドル」を募集中です。  
☎ 役場秘書広報課 ☎ (295) 2112 内線 332

広報もろやま 2月20日号 No 822 〒350-0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地  
■ 発行 毛呂山町 ■ 1部当り 40.6円 TEL 049(295)2112 Fax 049(295)0771  
■ 編集 秘書広報課広報広聴係 URL <http://www.town.moroyama.saitama.jp>

人口 37,132人(-2人)  
【男 18,526人(-4人) 女 18,606人(+2人)】  
世帯 14,927戸(+12戸)  
※平成21年2月1日現在(カッコ)内は前月比

口広報もろやまは、役場ホール、両公民館、図書館、保健センター、教育センター、総合公園体育館、歴史民俗資料館、福祉会館に置いてあります。